



長町中は今

学校目標
自主
友愛
創造

平成25年10月18日
仙台市立長町中学校
学校だより 第28号
電話：(248)1444

<http://www.sendai-c.ed.jp/~nagajh00/>
ともに上をめざして 長中

躍動長町中 1、2年生大活躍

上位入賞多数

市大会、県大会に出場決定

仙台市の新人大会が12日、13日の2日間で行われました。

長町中学校は各種目で大活躍しました。近年活躍が目覚ましい陸上競技部は、女子が総合1位、男子は5位になり、入賞者が多数でした。卓球部は男子団体戦、個人戦ともに2連覇を果たしました。卓球部女子も個人戦で第2位となりました。

剣道部は男子団体戦で2連覇、個人戦でも2年生の部で優勝、1年生の部でも第2位となりました。体操・新体操部も宮城県の強豪校として、個人戦優勝者4名を始めとして、合計16名が入賞を果たしました。男子バスケットボール部は、区大会決勝まで進み、第2位で仙台市大会に出場を決めました。バドミントン部女子はシングルスでベスト8に入賞し、県大会出場を決めました。

サッカー部は3年生の躍進を引継ぎ、第3位になりました。ソフトボール部は、部員がぎりぎりの9名で戦い、健闘し、第3位になりました。ソフトテニス部男子も2組がベスト8入りし、第5位になりました。

上位入賞を果たした部だけではなく、各部活動でそれぞれが自分たちの持っている力を発揮し、現在の力がどの程度なのかを実感できたのではないのでしょうか。これからまた、しっかり目標を設定し、ますます活躍できることを期待し、顧問を始め、私たち教職員一同で支援していきたいと思います。

(新人大会の結果は、ホームページで公開しています。)



大活躍した剣道部

第2学期始まる

新人大会で獲得した沢山のトロフィーが飾られる中、第2学期始業式を行いました。始業式では4人の代表が抱負を述べました。3年生の〇〇〇〇くんは、全校生徒に訴えるようなすばらしいスピーチでした。〇〇くんの作文の全文は次号で紹介します。



1学期終業式には4名の代表者が1学期を振り返っての作文を発表しました。それぞれがすばらしい発表をしました。3年生の〇〇〇〇さんは、最上級生として、体育館で聞いている生徒が本当に引き込まれるような内容と堂々とした発表ぶりで1学期を締めくくりました。全文を紹介いたします。ご家庭でも話題にいただければ幸いです。

全文を裏面に掲載いたしました。

1 学期を振り返って

〇〇〇〇さんの作文より

3年生になってからの半年間は、毎日が目まぐるしく過ぎていきました。その半年間を行事と学年目標の二つの点から振り返りたいと思います。

1学期は様々な行事がありましたが、特に私が多くの事を学んだのは中総体でした。新しい団体メンバーでの初めての大会となった中総体で私は、大きな壁にぶつかることになったのです。市の中総体ではチームの状態が良く、特に何の問題もありませんでした。しかし、そんな私達を待ちかまえていたのは、多くの行事でした。3年生にとっては特に重要となる中間考査や長中が最も力を入れている行事の一つの合唱コンクール。団体メンバー全員が集まれる日は少なく、思うように練習ができませんでした。不安やあせり、いらだちが募っていき、練習の雰囲気はどんどん悪くなりました。技の成功率が下がり、演技も合わなくなっていました。

そんなとき、手をさしのべてくれたのは先生や家族、部活の仲間でした。このままで良いのか団体メンバーで話し合うべきと提案して下さった先生。落ち込んで帰ってくる私を励ましてくれた家族。そしていつも明るく楽しく応援しつづけてくれた部活の仲間。そんな支えがあり、私は団体メンバーにこのままではだめだと本音を話すことができたのです。するとメンバーのほうからも思ってもみなかった本音を聞くことができました。それからの練習は皆前向きになり、心が一つになっていきました。そして迎えた県中総体では最高の演技をし、ずっとあこがれていた中学校に勝つことができました。この経験から私は一人で悩むのではなく、仲間とともに前に向かって歩むことの大切さを学びました。その陰では先生、家族、部活の仲間、そして私の本音をしっかり受けとめ、私に本音を話してくれた団体メンバーの皆など、本当に多くの人が私を支えてくれていました。そのことを忘れてはならないと強く思いました。

次に体育祭です。体育祭では長中が大きく成長したと思います。クラスごと、学年ごと、そして縦割りごとに多くのことを学んだではないでしょうか。特に応援合戦ではそれまであった縦割りの壁が消え、2、3年生が一つになることができました。順位よりももっと大切な、なにかかけがえのないものを手に入れることができたと思います。

しかし、まだまだ足りない部分もあります。それが学年目標です。3学年ではこの半年間、共存柔和と場面集中という目標を掲げてきました。共存柔和とは、共に過ごす中で優しく人に接し、皆が居心地のよい空間を作っていこうというもので、場面集中とは、その時その時に集中して、元気に勢いのある取り組みをしようというものです。先日、この二つの目標達成率のアンケートをとりましたが、結果はそれぞれ76%と77%でした。これはまだまだ日々の他者への思いやりやあいさつ、身だしなみ、場面ごとの切り替えなどを強化できるということだと思います。これからは残りの23%と24%を埋めるためにはどうすればよいかを一人一人が考え、改善していかなければなりません。

2学期が始まれば卒業までは本当にあっという間です。私は1学期学んだ多くのことを生活に生かし、改善すべきところは改善してよりよい生活にしていきたいと思います。そして悔いの残らないように、1日1日を大切に、自分の精一杯を尽くして、残りの半年間を過ごしていきたいです。

〇〇さんは、これだけの長文を発表時には、原稿を読まずに、自分の言葉として、自分の意見として、発表してくれました。すばらしい発表に、生徒、教職員から大きな拍手が送られました。